

関係団体懇談会 意見のまとめ

【第1回】

保健福祉・教育・文化分野(A)

全体のキーワード			“まちづくりは人づくり”
【意見グルーピング】	良い・優れたところ	問題点、改善すべき点	▶その他アイデアなど
【住みやすい】	人材はたくさんいる 通勤便が良い JR・国道・高速スマートIC 住みやすい栃木No.1 福祉相談がしやすい 下野市の顔 天候に恵まれ自然災害がない、安全で安心してらせるまち 平坦な地形 自治医大がある		人に優しい 住むだけで健康になれるまち
【見守りサポート】		サポートの担い手がない、負担が大きい 高齢者の一人暮らしをサポートできない(休日・年末年始等) 弱者の生活サポート策が不十分	負担のかからない見守り 一人暮らしの人をサポート出来る環境づくり お弁当配るついでに見守り
【人口高齢化と課題の多様化・複雑化】		空家問題 老々介護と認知症患者の対策 障害者の移動手段 高齢者の移動 タクシーが2時間半待ち インフラ整備 足が悪い方自治医大(病院)の回り方が分からなかった	高齢者に優しいまちづくり
【担い手の確保】		人材募集 あなたの技を下野市の力に！	人材バンク 助っ人(ボランティア)維持費(運営費)は徴収する 石橋で立ち上げ 人づくりを市で行い、その人の力を活用する 福祉に関するボランティアの育成と組織的運用 市職員が変わっても続く仕組みづくり
【健康づくり】			身の回りに身体を動かせる場所をつくる。横浜市 ウォーキングコース 南池袋公園 減塩食・家庭・外食 熊本阿蘇村 スマホを活用したアプリを使って市民が日常的に利用できるように 命を優先することを、当然として動ける環境づくり



保健福祉・教育・文化分野(B)

【意見グループング】	良い・優れたところ	問題点、改善すべき点	▶その他アイデアなど
【医療が整っている】	病院が多い 医療機関が多く充実している		
【行政との関係】	広くひらかれたイメージを持ちやすい役所 市障害福祉課と社会福祉協議会との連絡がスムーズにできていると感じる	要望に対しての対策がなかなか進まない	積極的な企業の誘致 障がいのある人達のつながりを持てる場をつくる(単発ではなく継続的に) 老いだけではなく、障に対しての専門家の育成 障がいのある人達のつながりを持てる場を作る
【文化の保護と文化資源】	歴史に対しての取り組み 東の飛鳥プロジェクトは良い	史跡の放置	観光と歴史をうたうなら整備を。 「東の飛鳥ルネッサンス」豊かな教育文化・健康福祉・国際交流の復興を官民協働で推進
【団体の継続性】		いろいろな団体が高齢化になり、やめる団体が多い 福祉団体が少なくなっている 団体が高齢者が多く、跡取がない 市民文化団体の高齢化が著しいので、若い人に入って欲しい 高齢化による孤住化	人材のリスト化を市(行政)の方でできないか(団体の要因対策) 高齢化が問題なら、高齢の方たちと人的資源として活かす方法を考える 文化活動の楽しさを若い人に知ってもらう活動 市民文化団体と中学校文化部とのコラボの推進 福祉団体が高齢者が多く、若い人達の協力がほしい 担い手の人材育成の提供
【高齢者の問題】		市内移動の手段が少ない 障害者の老後に対するケアの不足 障害者等の移動(手段)が少ない 民家が多く火災が心配	タクシー券の配布復活 農村部におけるゴミの収集地を細かく、距離の問題
【町づくり】	「シモツケくらしうってつけ」の視点は良い 市の規模が全体的にこじんまりとしていて親しみやすい 災害の少ない街である 住みやすさランキング(県内)上位のイメージがあり、生活はしやすい 地域の繋がりが深い	市内での生活格差が大きいと感じる 農村部と市街地の生活、文化的格差 農村部の公園が少ない 町の中の土地が不動産の業者に買い占められている 商店が少なく、大型店でなく便が悪い 南北の交通網がない 自治会の未加入者が多い 市内が暗い 街中に空地が多い 公民館の老朽化が著しい 市民文化センターがないので、作って欲しい 災害に対する準備不足では	空家や空地の有効活用の政策を考える 市内に商店が少なく大型店まで行く高齢者の足がない 若い人が移住したくなる取組を <市民文化センター関係>市と自治医大との共同での建設が有効 <市民文化センター関係>公民館・グリムの館・大規模コミセンの統合、再編が必要 使いやすいデマンドバスの整備 市内巡回のバス整備 自治会組織の加入 地域との交流機会を増やす



【第2回】

産業・都市基盤分野(A)

【意見グルーピング】	良い・優れたところ	問題点、改善すべき点	▶その他アイデアなど
【道路・交通】	新4号がある	歩道が狭い 道路のアスファルトがボロボロ バスの本数が少ない	公共事業の充実が必要
【地域の取組】	各地区毎にお祭りがある	団体に若手がない 下野市としての大きいイベントがない	各団体(地区ごと)の協力が必要
【住宅・環境】	災害が少ない 空気が良い 住宅がまちなみがきれい	空家が出る ホテルがない 新しい住宅がない	課題の改善による人口増
【特産物】	新鮮なお野菜がある	かんぴょう農家が減少している	
【店舗】		大型ショッピングセンターがない 駅前のお店がない	

産業・都市基盤分野(B)

【意見グルーピング】	良い・優れたところ	問題点、改善すべき点	▶その他アイデアなど
【交通】	鉄道利用者は3つの駅があり、便利 新4号があり物流しやすい	デマンドバスの活用 市内巡回バスがない 駅から郊外へのアクセスがわるい 近隣市町との連携	市内巡回バス(スマートモビリティ) スマートインターの活用 姿川のさくら駐車場の整備
【農業従事者について】	農業従事者は気候が安定し、野菜が豊富 日本一を誇る、かんぴょうがある	後継者がいない	
【生活環境】	新しい とかいなか 住みやすい 市内に公園が多い 災害がない所がよい	整備費用がかかりすぎ？ 天平の丘の年間活用を考えたい 駅前が寂しい 若者の遊ぶ場所少ない イナカの道が悪すぎる。巾 農地を住宅にしてほしい 工業団地の道が整備されていない	高齢者から若者が楽しめるeスポーツの 推進 野球場を作る 三王山公園の活用 防災機能の充実 防災道の駅 インフラの強化！



生活環境・地域社会分野

【意見グルーピング】	良い・優れたところ	問題点、改善すべき点	▶その他アイデアなど
【コミュニケーション】	子ども参加が進んで、石橋公民館(学習室)などインフラ整備が進んでいる コミュニケーション作りの場の整備が進んでいる スポーツ運動施設の充実化	高齢化による自治会の退会と新住民の未加入 近所とのコミュニケーションの不足 高齢者の集まり場所の充実を行政も考えていくべき 文化施設の未整備 小中一貫校を南河内地区に設置したのは、疑問がある。環境的には、石橋地区の街なかにするべきである	地域の皆さんが楽しめる事業を計画し、子どもから老人まで参加できるようにする コミュニケーションの場所づくり(公民館・空家等) 高齢者のあつまる場所 徒歩(街中心部)であつまれる公共施設の一角を開放して、いつでも利用者目線でつながる 文化ホール建設 公共施設の有効活用(既存施設の見直し・廃校後の建物)公民館・体育館
【交通インフラ・制度】	交通アクセスの整備進捗中 スマートICや文教通りなど道路インフラが充実してきている JRの駅が3つもある	交通体系については、東西方向の公共交通を充実して欲しい 道路が全体に狭い JRの駅が3つもある 観光に活用できる もっと活用すべき 警察との連携の強化 交通安全教育の徹底 交通指導員が少ない、子供や高齢者の交通事故が多い	駅の活用について 観光協会が頑張るべき。クラブツーリズムが自治医大から雀の宮まで「あるき旅」で年2回実施している メインの道路の整備・東西方向etc・通学路(暗い) 石橋地区の駅から独協医大路線を生活圏に応じた路線(文教通りを北上し上古山地区を迂回するものに) 市民一人一人の交通安全意識の向上 学校への交通安全指導を夏、冬休み前の教育 交通指導員の配置の見直しと増員(75才)
【災害】		庁舎内に民間企業が入っているが、情報漏洩等の心配はないのか 消防団員が不足 自然災害への対応不十分	この研修のあり方、持ち方を検討する必要がある 高校生や在外外国籍の方にも協力要請できる 制度検討 地震対策 ・橋脚の耐震強度チェック・河川の点検
【市民との協働】	「東の飛鳥」が少々知られてきている 市民協働補助事業が認知され市民活動が活性化してきた	ソフト面・ハード面が整っていない 市民との協働について 行政職員が市民活動に参加が見られない。市民は休日に活動しているのに？	市職員の働き方を柔軟に見直して市民の活動に共に参加していく体制を検討(フレックス勤務)
【国内・国際交流】	小学生6年の香川県高松市との国内交流も20年経過 ドイツとの姉妹都市交流が50周年を迎える。 永年続いているのは国内県内でも珍しい		国内交流協会への一般市民の加入促進 3年に1度相互交流している中学生(OB含む)を活用できる場を提供する

